

2011年4月 春の訪れを告げるカタクリの花

播磨の古代鉄の関連地に咲くカタクリの自生地を訪ねる

西播磨 佐用町弦谷 & 西神戸 神出 雌岡山



まだ冷たい風に立ち向かって山蔭で、身を震わせる愛らしいピンクの花
氷河期から日本列島の厳しい気候変動を耐え抜いたカタクリ
芽を出して花が咲くまで 約8年を地中で過ごす花でもある
この愛らしい花に魅せられ、毎年春になると 近くの自生地に「お〜い」と声をかけ、元気をもらうのですが、
東日本大震災があって 今年は一としお 思いがつのる
毎年出かける西播磨佐用町弦谷のほか、すぐ近くの西神戸 古代伝承の郷「神出・雌岡山」に咲くカタクリにも
出会えました 環境変化を逞しく生き抜く愛らしいカタクリの花をスライド動画にまとめました

みんなで声かけあって 支えあってゆきましょう!! 生きる元気を!!

東日本大震災・原発事故で被災されたみなさんに 支援の手を!!

1. 西播磨 千種川が流れ下る古代たたら郷
西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ 2011.4.5.



2. 明石の北子午線上にある古代伝説の山 雌岡山
西神戸 神出 雌岡山のカタクリ 2011.4.15.



1.

西播磨 千種川が流れ下る古代たたらの郷

佐用町 弦谷のカタクリ 2011.4.5.

西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ [1]



西播磨 千種川が流れ下る古代たたら郷 西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ 2011.4.5.
西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ [2]



西播磨 千種川が流れ下る古代たたら郷 西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ 2011.4.5.
西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ [3]



西播磨 千種川が流れ下る古代たたら郷 西播磨佐用町 東徳久 殿崎のカタクリ



西播磨 千種川が流れ下る古代たたらの郷 西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ 2011.4.5.

東徳久漆野 光福寺の糸桜と佐用大撫山 西播磨天文台



千種川が流れ下る 古代たたらの郷 佐用町の糸桜へ 2011.4.5.



東徳久漆野 光福寺の糸桜 糸桜の初め咲き 2011.4.5.



佐用町大撫山 西播磨天文台まで 湯船/湯田山/湯田山にほどき 2011.4.5.



太陽と星の星座を見る
大撫山 西播磨天文台で 2011.4.5.



西播磨 カタクリのき土地を知知る
2011.4.5.
寄地所：佐用町
ふたつうめ、弦谷・観神
漆野・文福寺のイソザクラ
大撫山 西播磨天文台
【おわり】



おまけ 我が家の庭も春の草花が満開です 2011. 4. 5.



2.

明石の北子午線上にある古代伝説の山 雌岡山

西神戸 神出 雌岡山のカタクリ 2011.4.15.



雌岡山頂上の下 北西斜面を整備して作られたカタクリの栽培地 2011. 4. 11.



雌岡山カタクリの栽培地

古代伝説の信仰の山「雌岡山」の山腹には、かつてあちこちにカタクリが自生するカタクリの群生地。

春 山に花が咲くと 集落の娘たちは花を見にこの山に入り、山中にある神出の守り神 神出神社と良縁・安産の神 裸石・姫石の両神社に参詣したという。

絶滅が危惧されたこのカタクリの群生地を復活するため、神出の人たちによって 4・5年前から 山腹の斜面地を整備し、カタクリの移植・栽培がトライされてきた。

カタクリが花をつけるのには 8・9年かかり、この栽培地でカタクリの花が数多くみられるようになったのは、ここ1・2年だという。

数多くのカタクリが他から移植されたためかどうかわからないが、他の群生地で見られる「葉に紫斑のあるカタクリ」と「斑のないカタクリ」の2種が混在しているようだ。

また、若いカタクリが多いためか、葉が小さく、色も薄い感じがする。

神出集落の人たちの大変な苦勞で、守り育てられてきた雌岡山のカタクリ。

このまま 順調に 春カタクリが咲き乱れる群生地復活が成功することを願う。





今年初めて、花をつけたのか?
小さな葉っぱが2枚、若いカタクリ
まだ、若いカタクリが
スミシに囲まれて咲いている。
雌岡山のカタクリの花 まだ若い株が多い 2011.4.15.







みんなで声かけあって 支えあってゆきましょう!! 生きる元気を!!

東日本大震災・原発事故で被災されたみなさんに 支援の手を!!